

保護者様

松戸市立相模台小学校
校長 保坂 和志

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

初冬の候、保護者の皆様には益々ご健勝のことと存じます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、4月18日に実施されました「全国学力・学習状況調査」(6年生が実施)の結果について、概要をお知らせします。

この調査は、学力の一部を調べたものです。したがって、得点や他校との比較については、調査の趣旨とは異なるため、説明しかねますことをご了承下さい。

本調査からうかがえる成果や傾向、課題について以下のように分析し、報告するとともに、これからの本校の教育活動に生かしてまいります。

1 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語・算数)
- (2) 生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査

2 相模台小学校の調査結果

(1) 教科に関する調査結果について

- ・全国や千葉県の結果と比べ、平均正答率・中央値・標準偏差※は同程度の結果になっています。
※資料が平均値のまわりにどの程度の広がり分布しているかを示す一つの尺度

【国語】

- ・国語では、「話すこと・聞くこと」の能力に関わることが全国や千葉県よりやや高い結果になっています。話の内容の中心を捉えて理解できています。
- ・「読むこと」においては、中心となる語や文を捉え、要約する、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見つけるなどの情報の受信に関わる基礎は身に付いてきています。
- ・「情報の扱い方に関する事項」に課題が見られ、それぞれの情報の内容を把握し、その情報と情報の関係づけの仕方、情報の整理の仕方に関わる力に課題があります。
- ・全国的な課題と同様に、記述式の問題形式の正答率が低く、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することを困難としています。また、情報を解釈し、情報と情報の関係を理解できないことが、捉えた情報を自分の考えを支える根拠とすることができなく、そこから理由付けとしての考えも持つことができないと考えられます。本校では、これらの課題を解決するために作文タイム等を中心に記述力を高める取り組みを行っています。

【算数】

- ・「変化と関係」の領域では、伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取るなどの基礎的な力がついています。
- ・「図形」の領域に関しては、全国と同様に課題が見られました。図形の意味や性質についての理解が曖昧になっています。「数と計算」の領域のわり算の筆算の意味理解についても同様のことが言えます。図形の面積については、公式は理解していてもその公式をもとに、面積の比較などの問題に知識をいかして、自分の言葉でわかりやすく説明するというところに課題が見られました。
- ・「データの活用」の領域では、グラフを比較して分析したり、目的に応じて、示された複数のグラフから、データの特徴を捉え考察したり、見いだしたことを表現したりすることに課題があります。自分の言葉で算数的言葉・知識を使って説明することができるように、より一層力を入れて指導していきます。

(2) 児童質問紙の回答について

- ・家庭での学習に関する項目が、県、全国よりやや高いです。全校で取り組んでいる家庭自主学习(相模っ子学習スタイル)の効果が出ていると考えられます。
- ・「人が困っているときは進んで助けていますか」や「人の役に立つ人間になりたい」「地域や社会のために」という項目が、全国の数値よりもやや低く、他者への気持ちの持ち方を考えさせていきたいと思えます。